

第 26 期・第 4 回 土木工学・建築学委員会
複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会 議事要旨

開催日時 令和 6 年 9 月 30 日（月） 15:00-17:32

開催場所 Zoom

出席者 竹内徹, 伊藤香織, 岩永理恵, 奥山信一, 小野悠, 片桐由希子, 金尾伊織, 田井明,
田島夏与, 田村和夫, 永野正行, 西希代子, 久田嘉章, 平田京子, 藤原章正, 松尾
美和, 三輪律江, 目黒公郎, 持田灯, 山田あすか

事務局 藤田崇志

欠席者 山本佳世子

配付資料

- 4-0_【議事要旨】土木工学・建築学委員会_合同分科会
- 4-1-1_気候変動と国土の未来分科会の設置目的
- 4-1-2_気候変動と国土の未来分科会名簿
- 4-1-3_第 3 回気候変動と国土の未来分科会議事メモ_（案）清水
- 4-1-4（参考）過去の提言を振り返る（清水）
- 4-2_岩永理恵_日本の貧困問題・政策から考える
- 4-3_ 20240930 田島夏与（立教大学）
- 4-4【14：40 差替】20240930 西 希代子（複合災害と人口減少社会—法学との接点）
- 4-5_240930_松尾美和（神戸大学）

議題

- （1）人口減少下での生活・まちづくり、複合災害への対応について委員（医療福祉学、経済学、法学、経営学分野）から話題提供

●岩永委員（社会福祉）

- ・ テーマ：日本の貧困問題・政策から考える
- ・ 住宅政策について分科会メンバーと議論したい。生活保護制度基準がテーマ。住宅扶助については面積基準だけで、質の設定がされていない。住居確保給付金、借り上げ仮設住宅などのキーワードから社会政策としての住宅手当についての考察が述べられた。

質疑：みなし仮設についてどのくらい待ったのか、保護基準の家賃と一人暮らしだと家賃が市場価格から決まってしまう居住継続ができないことについての質疑

質疑：生活保護の生活扶助基準額はどうやって決まるか？

●田島委員（経済）

テーマ：生活の基盤・経済的資産として 住宅宅地を考える

立地条件（環境）が住宅価格に与える影響、東日本大震災による液状化被害が浦安市における中古集合住宅の取引価格に与えた影響、マンション共用部が住戸の再販価格に与える影響が述べられた。

質疑：購入者が住宅宅地の安全性・リスクを本当に理解して購入しているのか、疑問

質疑：マンションの間仕切りを抜くなど変更できるようになると長期使用が可能になるが、間仕切り壁は共用部で個人の自由にはできないなど課題がある

質疑：都心の土地で標高が高くない麻布十番などのまちの魅力については、先生はどのようにお考えか。マンション価格が落ちないものもある、購入価格の半分に落ちるものもある。

●西委員（法）

テーマ：複合災害と人口減少社会 ―法学との接点

法学という学問、本分科会のテーマと関わりがありそうな法分野・法的問題、本分科会のテーマと関わりがある最近の法改正が述べられた。

質疑：耐震性の高い建物を建てられない理由（能登半島地震報告会）に関する指摘は、断熱性や耐震性能を上げることを規制により強要すると、各自の住宅価格が上がることにつながる点を「財産権とのコンフリクト」と表現したものでは。

感想：法体系の基本理念より説明いただいた点が理解の上で大変良かった。

●松尾委員（経営）

テーマ：過疎地における交通課題とライドシェア活用 米国の事例からの示唆が述べられた。

質疑：能登半島では高齢化が進展しており、ライドシェアは成立するのだろうか、安全性を確保するのが困難になりそうである。

質疑：ライドシェアは困難な課題もあるが、部分的にでも実現可能そうなものはあるか

発表全体に関して、各委員からの感想、意見、コメントがあった。普段第三部内では聞けない話が多く、有意義であった。

(2) その他

- ・ 次回も話題提供者による討論を行い、議論を収斂していきたいので、後日提供者は選ばせていただきたい。スケジューリングも別途行う。
- ・ 持田委員より、複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会と気候変動と国土の未来分科会との内容・委員の重複が多く、連携して議論してほしいとの説明があった。

以上